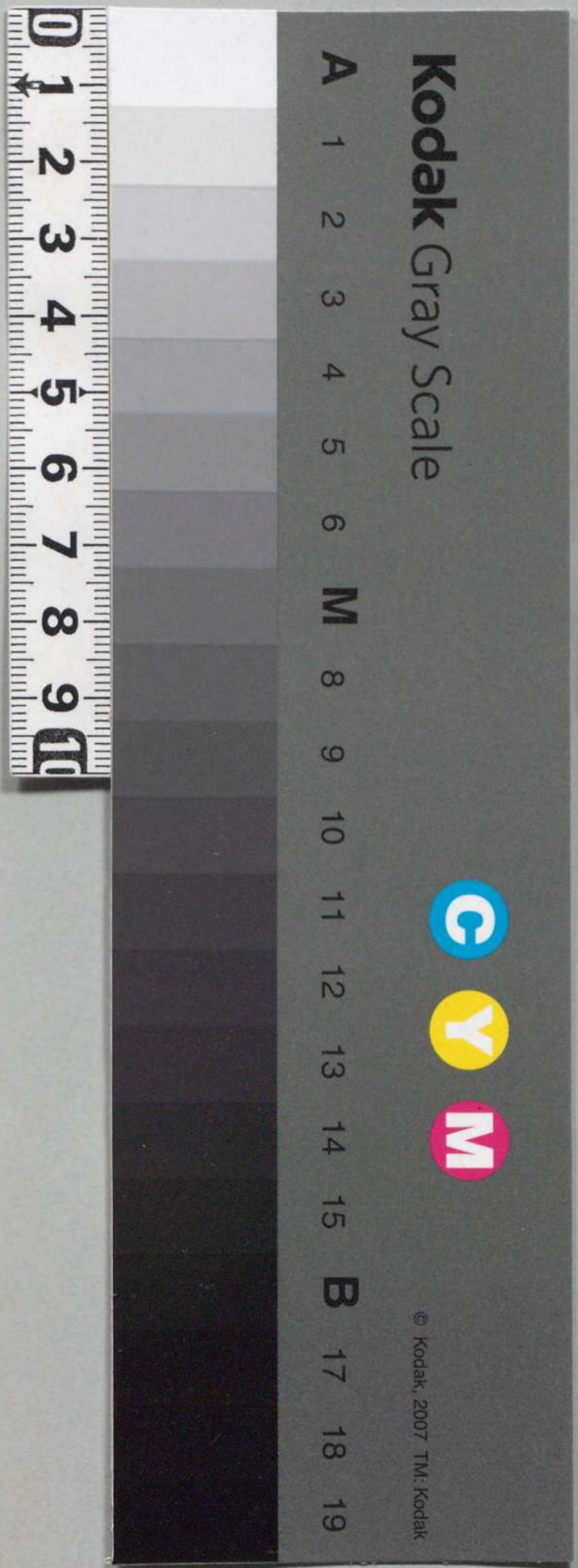
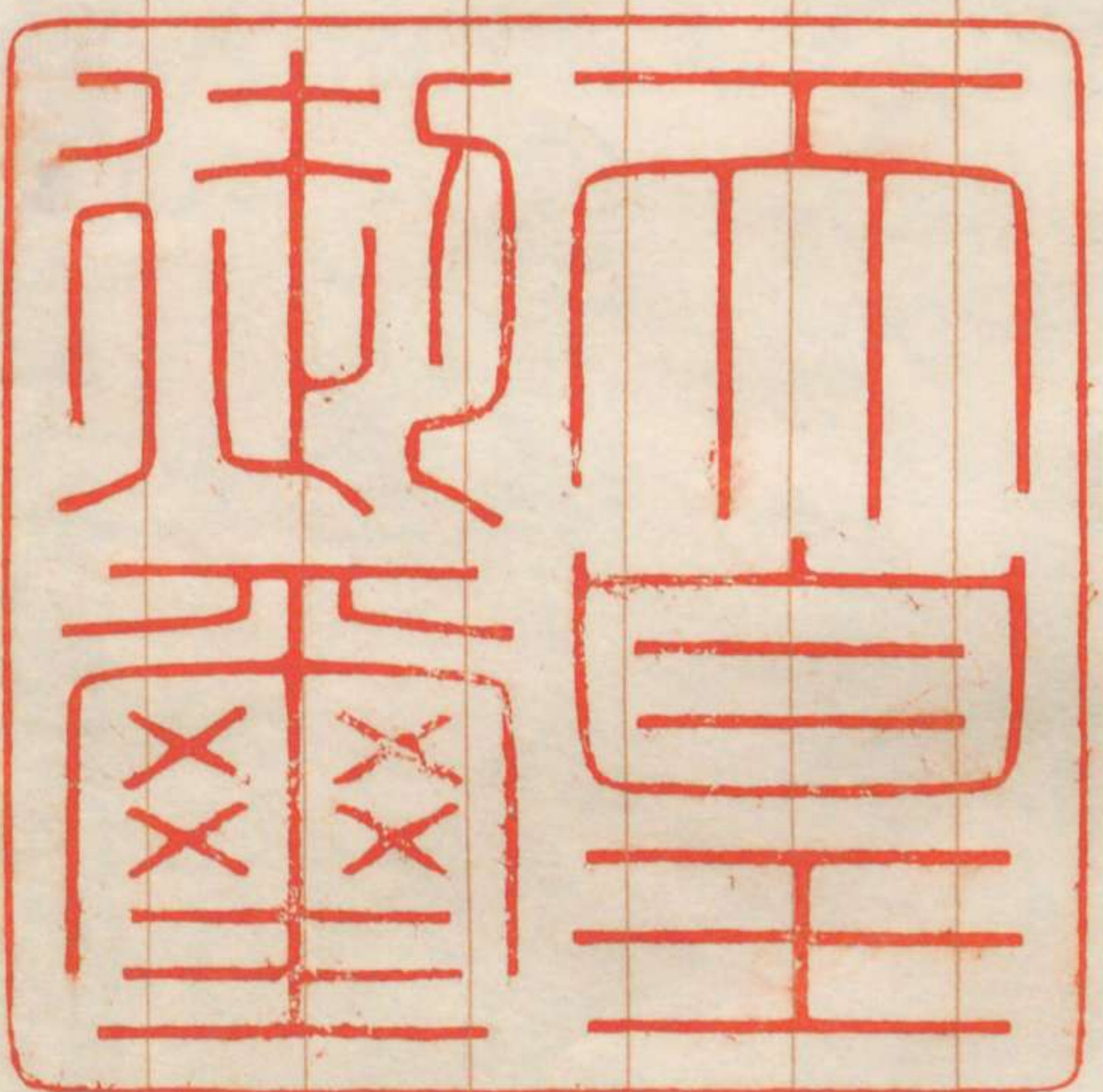


法律第二十卷



朕陸地測量標條例ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十三年三月二十六日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
陸軍大臣伯爵大山巖

法律第二十三號

陸地測量標條例

第一條 本條例中測量標ト稱スルモノ
ハ三角點標石水準點標石觥標標杭測
旗假杭トス

第二條 陸地測量部ニ於テ宅地ニア
ル民有地ニ測量標ヲ設置スル為メ
敷地ヲ要スルトキハ所有者之ヲ拒ム
コトヲ得ス又官有地第三種第一項第
五項第六項第七項第八項ノ土地ニ在テ

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
陸軍大臣伯爵大山巖

法律第二十三號

陸地測量標條例

第一條

本條例中測量標ト稱スルモノ

ハ三角點標石水準點標石觚標標杭測
旗假杭トス

第二條

陸地測量部ニ於テ宅地ニアラ

ナル民有地ニ測量標ヲ設置スル為メ
敷地ヲ要スルトキハ所有者之ヲ拒ム
コトヲ得ス又官有地第三種第一項第
五項第六項第七項第八項ノ土地ニ在テ

ハ所管廳ニ通知シテ之ヲ使用スルコトヲ得

官有地第二種第三種第二項第三項第四項第四種ノ土地及ヒ民有宅地内ト雖モ已ムヲ得サル場合ニ於テハ測旗假杭ニ限り前項ニ準シテ之ヲ設置スルコトヲ得

第三條 民有地ニ標石ヲ設置スルトキハ其敷地ヲ買上クヘシ但所有者ニ於テ其土地ヲ寄附シ又ハ借地料ヲ要セ

ス永遠貸地トナサシコトヲ望ムトキハ格別トス

第四條 民有地ニ規標及ヒ標杭ヲ設置シタルトキハ宅地ニ在テハ相當ノ借地料ヲ給シ田畑鹽田鑛泉地ニ在テハ一箇年一坪ニ付金三錢其他ニ在テハ同金一錢ノ割ヲ以テ借地料ヲ給ス但所有者ニ於テ其土地ヲ寄附シ又ハ借地料ヲ要セス貸地トナサシコトヲ望ムトキハ格別トス

第五條 測量主任官測量ノ為メ官有地
第二種第三種第二項第三項第四項第
四種ノ土地及ヒ民有宅地内若クハ牆
垣籬柵内ニ立入ラントスルトキハ先
ツ其所管廳又ハ所有者ニ通知スヘシ
但官有地第三種第一項第五項第六項
第七項第八項ノ土地并宅地ニアラサ
ル民有地及ヒ所有者又ハ管理人ノ所
在遠隔スル田畑等ノ垣柵内ニ在テハ
直ニ立入ルコトヲ得此場合ニ於テハ

主任官ハ
第六條 官種第一項ノ土地及
ヒ宅地ニ於テ測量施行ノ為メ
量施行ノ為メ障礙トナル竹木ハ已ム
ヲ得サルモ限リ之ヲ伐除シ又樹
上ニ規標ヲ設置スルトキ得此場合
ニ於テハ相當ノ補償ヲナスヘシ
第七條 測量施行ノ為メ牆垣籬柵等又
ハ植物ヲ毀損シタルトキハ相當ノ補
償ヲナスヘシ



第五條 測量主任官測量ノ為メ官有地
第二種第三種第二項第三項第四項第
四種ノ土地及ヒ民有宅地内若クハ牆
垣籬柵内ニ立入ル者トスルトキハ先
ツ其所管廳又ハ所有者ニ通知スヘシ
但官有地第三種第一項第五項第六項
第七項第八項土地并宅地ニアラサ
ル民有地及ヒ民有者又ハ管理人ノ所
在遠隔スル者トシテハ
直ニ立入ル者トシテハ
待此場合ニ於テハ



主任官タルノ證票ヲ携帶スヘシ

第六條 官有地第三種第一項ノ土地及
ヒ宅地ニアラサシ民有地内ニ於テ測
量施行ノ為メ障碍トナル竹木ハ已ム
ヲ得サシモノニ限リ之ヲ伐除シ又樹
上ニ規標ヲ設置スルコトヲ得此場合
ニ於テハ相當ノ補償ヲナスヘシ
第七條 測量施行ノ為メ牆垣籬柵等又
ハ植物ヲ毀損シタルトキハ相當ノ補
償ヲナスヘシ

内 罰

第八條 第三條ノ敷地買上料第四條ノ
宅地借地料及ヒ第六條第七條ノ補償
金額ニ付所有者ト協議調ハサルトキ
ハ市町村長ヲシテ之ヲ評定セシム
市町村長ノ評定ニ服セサル者ハ其評
定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一箇月以
内ニ裁判所ニ出訴スルコトヲ得
第九條 標石ハ諸測量ノ基準點トシテ
官民共ニ使用スルコトヲ得
第十條 標石ヲ移轉シ若クハ毀壞シタ

ル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ
處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金
ニ處ス

第十一條 規標及ヒ標杭ヲ移轉シ若ク
ハ毀壞シタル者ハ五圓以上五十圓以
下ノ罰金ニ處ス

第十二條 測旗及ヒ假杭ヲ移轉シ若ク
ハ毀壞シタル者ハ二圓以上二十圓以
下ノ罰金ニ處ス

第十三條 過誤ニ由リ測量標ヲ毀壞シ

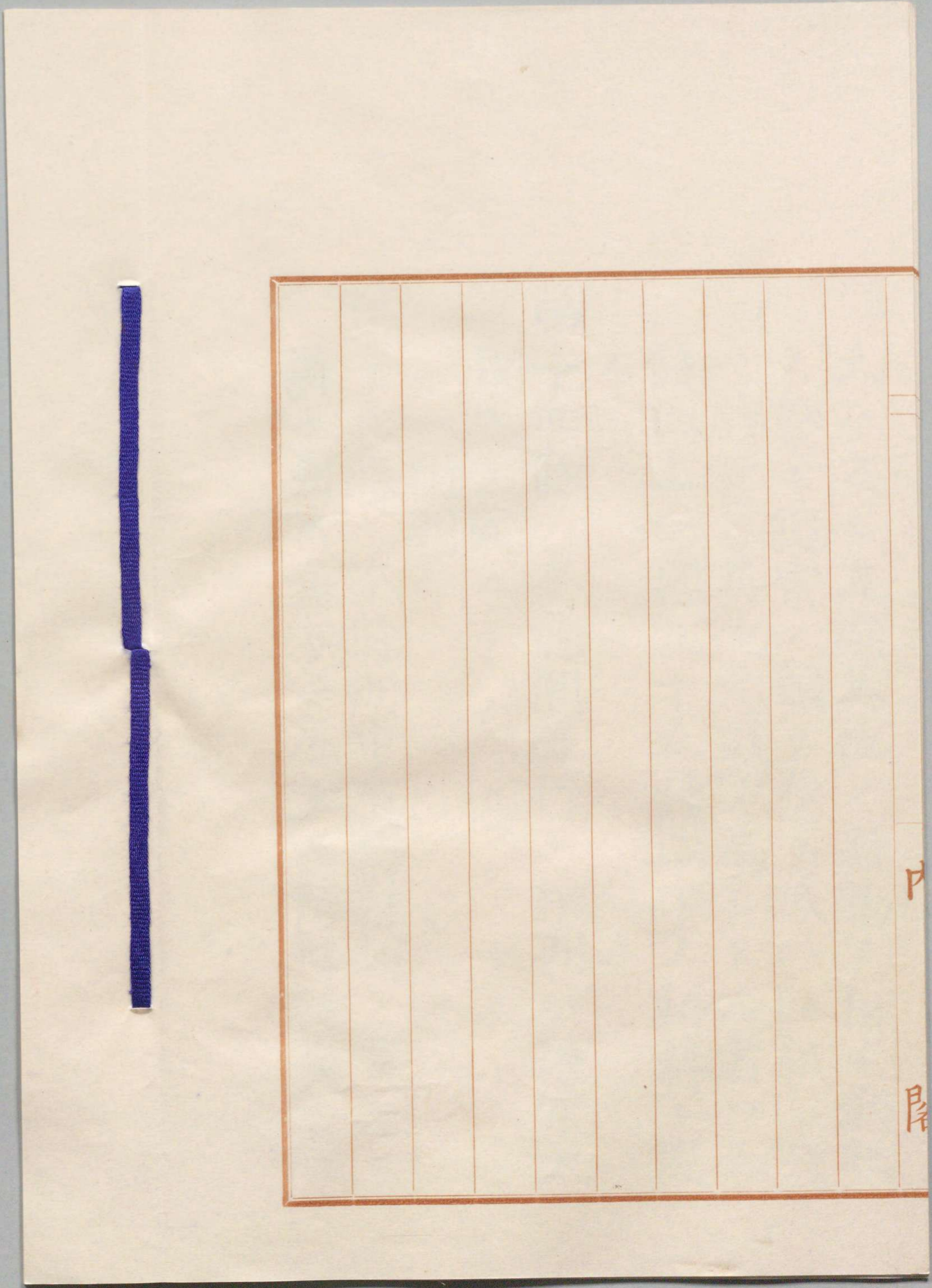
又ハ之ニ瓦礫其他ノ雜物ヲ擲キ獸類
ヲ繫キ繩索ノ類ヲ懸ケ或ハ貼紙シ或
ハ戲書シ其他惡戲ヲ為シタル者ハ五
錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處
ス

第十四條 本條例施行ノ細則ハ陸軍大
臣之ヲ定ム

附則

第十五條 本條例中市制町村制ノ實施ニ
至ラサル地方ニ在テハ市町村長ノ職

務ハ區戸長ヲシテ之ヲ行ハシム



内

外